

【皮膚科】

1. 概要・特徴

臨床医として皮膚疾患は遭遇する頻度が高く多様であることから、皮膚科はプライマリケアにおいて重要な領域である。皮膚疾患の診断・検査・治療の理解には実践的な研修が不可欠である。当科では、オホーツク地域の基幹病院の皮膚科としてほぼすべての皮膚疾患に対応できる診療体制を整えている。

2. 一般目標

臨床医として必要な皮膚科の診断・検査・治療の基本を習得する。すなわち日常よく遭遇する皮膚疾患を経験し、皮膚科検査・治療について学ぶ。さらに多様な皮膚疾患を経験し、皮膚科専門医へ紹介すべき重症例・難治例を見分ける能力を身につける。

3. 行動目標

①経験すべき診察法・検査・手技・治療法

I) 基本的診察法

皮膚科の基本的診察法(病歴聴取・視診・触診とその記載)を習得する。

II) 基本的検査・手技

1. 真菌直接検鏡
2. パッチテスト
3. ダーモスコピー
4. 皮膚生検

III) 治療法

1. 外用療法
2. 紫外線療法
3. 冷凍凝固療法
4. 皮膚外科手術

②経験すべき症状・疾患

I) 経験が望まれる症状

紅斑・丘疹・結節・水疱・膿疱・膨疹・皮膚潰瘍・掻痒

II) 経験が望まれる疾患

1. 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎)
2. 蕁麻疹
3. 紅斑症(多形紅斑・結節性紅斑)
4. 中毒疹・薬疹
5. 炎症性角化症(乾癬・扁平苔癬)
6. 水疱症・膿疱症(天疱瘡・類天疱瘡・掌蹠膿疱症)

7. 膠原病(エリテマトーデス・強皮症・皮膚筋炎)
8. 皮膚腫瘍(粉瘤・脂漏性角化症・色素性母斑)
9. 細菌性疾患(せつ・伝染性膿痂疹・丹毒)
10. ウイルス性疾患(尋常性疣贅・带状疱疹・単純性疱疹)
11. 皮膚真菌症(白癬・カンジダ症)

4. 研修方略

①外来研修

- ・外来初診患者の予診を行い、カルテを記載する。その後に指導医とともに診察し、外来患者の診断・検査・治療について学ぶ。
- ・皮膚外科手術の助手を務める。さらに指導医の指示により皮膚生検を行う。
- ・救急外来を受診する皮膚疾患の診断・検査・治療を経験する。

②病棟研修

- ・病棟患者を受け持ち、入院患者の診断・検査・治療について学ぶ。
- ・指導医とともに病棟回診を行い、入院患者の一般的皮膚科処置を経験する。

※2回目以降ローテートする場合は、指導医・上級医が研修医の能力レベルを見極め個別に判断し研修を実施する。

5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来
午後	病棟	病棟	病棟 褥瘡回診	病棟	病棟
	外来	手術 フットケア外来	外来	外来	手術 検査

6. 指導体制

指導責任者:指導医 皮膚科部長 飯沼 晋

7. 評価方法

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる。